

教育研究センター研究員 21 人に委嘱

5月11日、市教育研究センター研究員の委嘱状交付式が開かれ、市内小・中学校の教職員 21 人に委嘱状を交付しました。研究員を代表して、三松小の都原裕史主任研究員が「子どもたちの力を伸ばすため、中心的な役割を果たしていきたい」と宣誓しました。



市内小中学校へマスク 5 千枚寄贈

4月23日、株式会社 KGT（謝利慶代表取締役）から市内小中学校にマスク 5 千枚が寄贈されました。謝代表は「会社はえびの市にあるが、小林のみなさんにお世話になっている。明るい未来のために子どもたちに使ってもらえたら嬉しい」と話していました。



霧島シリカ水源（株）がマスク寄贈

5月11日、霧島シリカ水源株式会社（萩原彰紀代表取締役）から市にマスク 3 千枚が寄贈されました。萩原代表は「これからも地域や社会に貢献していきたい」と話していました。寄贈されたマスクは、新型コロナウイルス対策や災害時に使用される予定です。



地域への長年の尽力に感謝状を贈呈

4月24日、地域自治の発展と地域住民の生活の向上に尽力した区長に永年勤続表彰が行われました。橋満進さん（東方一区）、谷山孝一さん（北西二区）、河野雄二さん（永田区）、池井周造さん（中河間区）の長年の尽力に対して感謝状が贈呈されました。



ボランティアなどが出の山公園を清掃

5月12日、ホテルの生息環境保護を目的に、観光協会、商工会議所、地元業者やボランティアなど約 80 人が出の山公園周辺の草刈りやゴミ拾いを行いました。なお、今年の「出の山ホテル恋まつり」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりました。



東方学校給食センターがマスク寄贈

5月7日、東方学校給食センターの職員が、東方小と東方中にマスクを寄贈しました。マスクは職員が持ち寄った材料による手づくり。東方小 6 年の前田悠喜さんは「マスクを大切に使うことで感染防止に努め、元気に過ごしていきたい」と感謝を伝えました。



市議会がコロナ対策の申入れ・要望

5月14日、市議会（坂下春則議長）が市長に新型コロナウイルス感染症対策に関する申入れと要望を行いました。視察研修経費や政務活動費の一部を感染症対策事業の財源に充てるように申し入れ、経済対策事業の迅速な実施など計 4 項目を要望しました。



榎光子さんを教育委員会委員に委嘱

5月10日付けで、榎光子さんが教育委員に委嘱されました。榎さんは平成 30 年から教育委員を務めており、今回の任期は令和 6 年までの 4 年間になります。榎さんは「心して励みたいと思います」と意気込みを語りました。

